

東海農政局木曾川水系土地改良調査管理事務所の見学が開催されました

研究推進部 研究推進室 後藤眞宏

12月14日、東海農政局木曾川水系土地改良調査管理事務所の皆さん(6名)が、当部門を見学しました。今回の見学は、事務所の若手職員と農工部門の若手研究者との交流の機会を設ける意図もあり、実現したものです。当日は小雨降る寒い日でした。

まず、広報担当から「農業農村研究部門の紹介」と題して、農研機構の概要と研究成果(シャインマスカットやべにはるかなど)の説明がありました。



続いて、所内の実験棟を見学していただきました。

1) 遠心載荷実験棟では施設工学研究領域・施設整備グループの林田上級研究員より、遠心載荷装置の概要、実験の方法など説明がありました。

2) 資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ土屋研究員からは、農業施設(スマート園芸施設)でヒートポンプ等を用いた農業用ハウス内の環境制御について説明がありました。

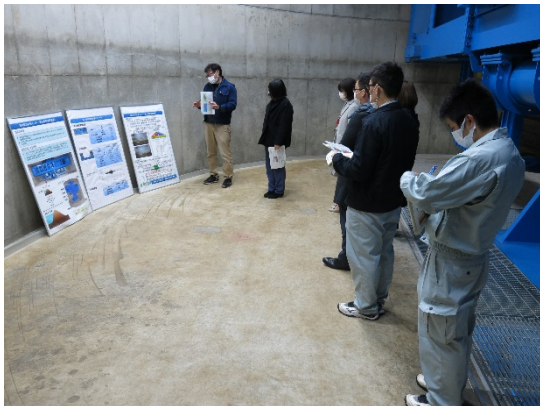
3) 水利工学研究領域 流域管理グループ福重研究員からは、沿岸域防災実験棟の必要性、これまでの災害との関連、干拓農地の模型の説明がありました。

4) 資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ三木研究員からは、ダム実験棟内の水路に設置された流水利用型熱交換器について、ヒートポンプへの熱供給方法や設置方法などの説明がありました。

緊急防災棟では以下の2件の研究について報告がありました。

5) 水利工学研究領域 流域管理グループ 相原研究員からは、近年話題となっている農業用ダムの事前放流について、全国の農業用ダムでの検討や安濃ダムでの解析結果が紹介されました。

6) 資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ福田上級研究員からは、頭首工における小水力発電について、現在の活用状況、研究実施状況について説明がありました。



遠心载荷実験棟(林田上級研究員)



スマート園芸施設(土屋研究員)



沿岸域防災実験棟(福重研究員)



ダム実験棟(三木研究員)



緊急防災棟(相原研究員)



緊急防災棟(福田上級研究員)

さらに、青木計画課長より木曾調の概要説明の後、管内5地区の事業や調査内容について、各地区の担当者から説明がありました。

ア) 中村係員：地域整備方向検討調査「濃尾用水第三期地域」

イ) 上野係長：地区調査「伊勢平野中央地区」

ウ) 岡係員：全体実施設計「西濃用水第三期地区」

エ) 齋藤係員：国営施設機能保全事業「中勢用水地区」

オ) 辻係員：国営造成施設直轄管理事業「濃尾用水地区」

説明の後、農工部門研究者から事業・調査内容についてたくさんの質問があり、活発な意見交換の場となりました。



緊急防災棟(青木計画課長)



緊急防災棟(各地区担当者)

今回、農工部門の実験施設の見学、研究の紹介に加えて、農林水産省の農業農村整備事業の現場で活躍されている若手技術者との意見交換が図られました。短い時間でしたが、現場と研究の状況を共有でき、今後さらなる協力関係の構築が期待されます。

見学者も徐々に増えてきておりますが、今後も感染防止対策を講じながら、見学者を受け入れていきますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。